

としょかん宇治

No. 5

1985年3月1日発行

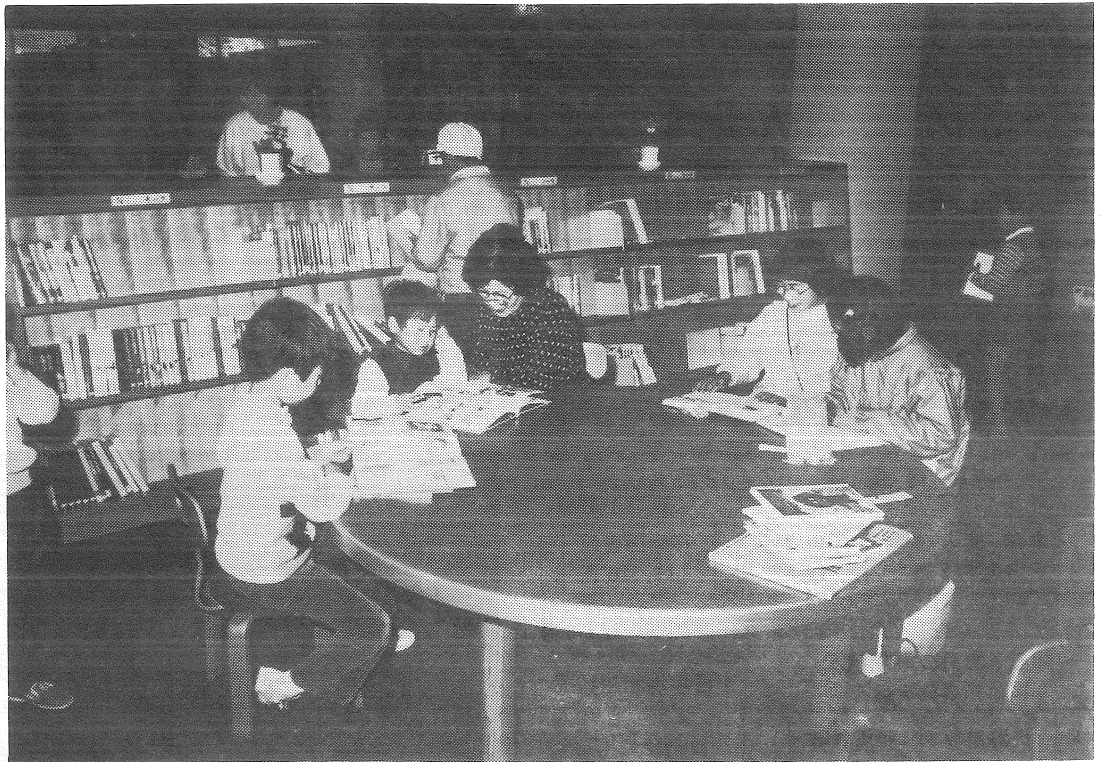
宇治市文化センター

宇治市中央図書館

▽611

宇治市折居台1丁目1番地

電話 (20)1511



「としょかん宇治」 のよびせ

教育長 岩本 昭造

昨年十一月開館した中央図書館は、三カ月間で三万人余の市民に、八万冊の本を貸出しました。利用者も日曜日は平均千百名、平日でも三百名を数えています。とくに、文化会館や中央公民館で催しのある日は利用者は多く、開館記念事業の鈴木健二氏（NHKアナウンサー）の文化講演会の日は千四百名と最高の利用者で三千三百冊余の本の貸出をしました。また、去る一月には、今年の「エト」に因んだ「牛」の本のコーナーを設け、大変好評を博しました。このように開館三カ月の中央図書館は、着実に歩み出しています。これからは市民に親しまれ、利用しやすい図書館にするために蔵書を増やす努力とともに、運営にあたっては、いろいろ工夫していかなくてはならないと思っています。

さて、情報化時代、価値観の多様化が指摘されるいまの世の中で、なによりも読書は、人間を豊かにするものです。今年は丁度、図書館法ができて三十五年になりますが、いよいよ図書館奉仕は大事になってきました。「図書館は作られるものではない。生長するものだ」という言葉がありますが、その意味から「としょかん宇治」が、中央図書館と市民を結ぶ情報のパイプラインとして、活かされんことを期待しています。

一歩一歩着実に 前進する 図書館を

宇治市中央図書館長
五十嵐 一郎

今日の社会を有効に生き抜いていくためには、生涯にわたっての学習が必須となっているといわれています。宇治市民が本を通しておこなう生涯学習の場として誕生した図書館には、市民が沢山集まってきています。特に日曜日には幼児の手を引いたお母さん、子供に紙芝居を読んで聞かせているお父さん、参考図書を調べている中年男性、いつもくるお年寄り、さまざまな世代の人々が集まり、自分にあった本を選び、読み、貸りるなど、それぞれ思い思いに本を楽しむ光景が見られます。

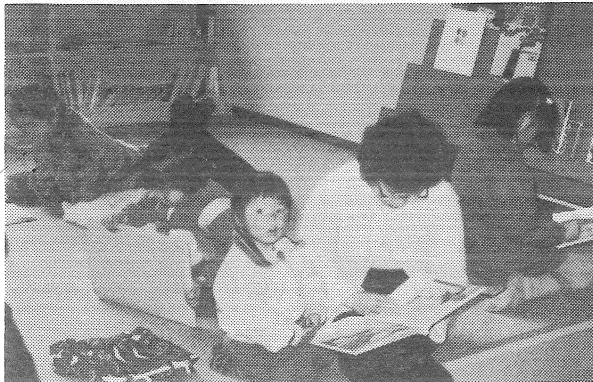
宇治市の図書館行政は、昭和40年市民会館に開かれた図書室としては始まり、その後移動図書館車そよかせ号の導入、そして中央図書館の開設となりました。昭和40年にわずか二千三百冊の蔵書で出発した図書室が、約七万冊(うち移動図書館二万冊)を有する図書館に成長したのです。

情報化の時代、多様化の時代といわれる今日、市民のニーズも多種多様であり、幼児からお年寄り

までの生涯学習に最適な資料を広く収集・整理・保存して提供できる努力を続けていかなければなりません。

図書館に親しみ、本を常に身近かなものにする市民が一人でも多くなるのが図書館人の願いです。あれもしたい、これもしたいと、したいことが沢山ありますが、あせらず着実に市民のなかに入っていきたくと考えております。はじめたサービスは決して後退させない、一歩一歩着実に前進、これが願いです。

市民の方々のあたにかいご支援をお願い申し上げます。



蔵書冊数 67,482冊

(59.12.1現在)

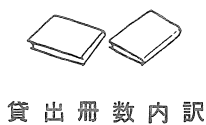
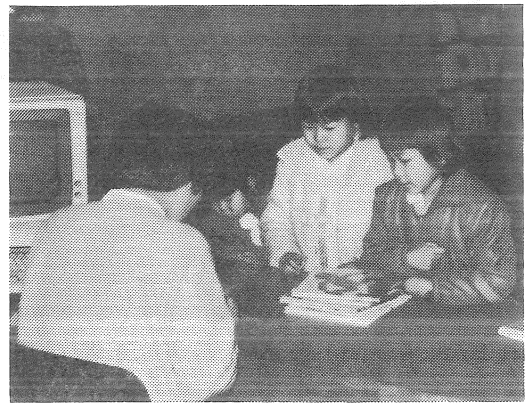
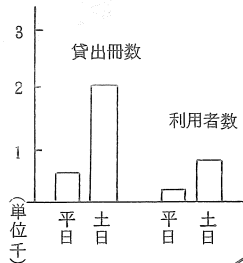
本館 成人書 30,272冊	本館 児童書 16,522冊	移動図書館 19,515冊
-------------------	-------------------	------------------

団体貸出
1,173冊

開館3カ月の利用状況 (移動図書館を除く)

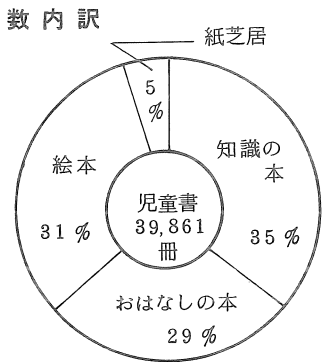
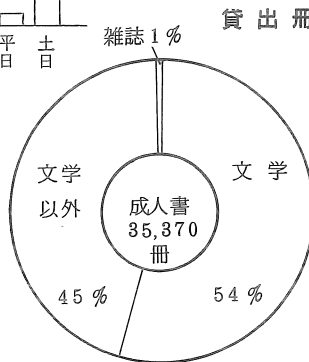
月	貸出冊数	利用者数
11	25,681冊	10,556人
12	23,847冊	9,838人
1	25,652冊	10,387人
合計	75,180冊	30,781人

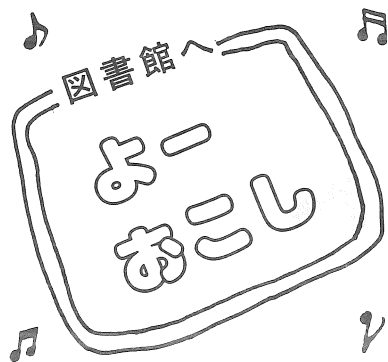
1日平均利用状況



貸出冊数内訳

成人書 47%	児童書 53%
------------	------------





図書館がオープンして四カ月。あなたの印象はいかがですか。先頃、本を借りに来られた方いらっしゃったところ、

「広くって気持ちがいいわ」「遠くって、不便だなあ」などいろいろな感想をお持ちでした。それでは、その声をたよりに、ちよっと案内を……



「本がたくさんあって楽しいわ」
「広いからか、本が少なく感じるなあ」

本棚にある本の数については、たくさん利用があり、開館時の半分ぐらいになっていますが、今後にご期待下さい。またおめあての本がみつからない時は、ご遠慮なく係員におたずね下さい。予約制度もご利用下さい。



予約される時は、「予約・リクエスト申込書」に記入して下さい。貸出中の本は返却があれれば即、図書館から本も購入したり、他の図書館から借りてお手元へ……。本が準備できれば電話をしますので、二週間以内に来て下さい。



「書棚の分類がはっきりしてわかりやすい」「なれないせいかわか、本が探しにくい」

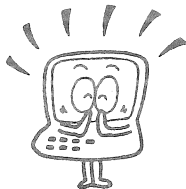
図書館では、主題ごとに本が並んでいます。「小説や文庫は奥の方」「左から2本目の柱の筋が、手芸と料理」という風に、あなたの本棚として使して下さい。

また、子どもコーナーは、絵本・よみもの(日本・外国)と知識の本に分かれています。みつからない本やわからない事は、なんでも係員におたずね下さい。



「貸出がスピーディーになりましたね」

コンピュータを使っていきます。図書館の本には、表紙の左下に、バーコードと呼ばれる



ラベルが貼ってあります。バーコードはデータを線の集まりで表現したもので、貸出や返却の時には、光でこの線を読み取ります。「ピー」というのはこの時の音で、返却と同時に貸出の記録は消えてしまいます。また、コンピュータでは、この他に図書検索等も出来ますので、カウンターでおたずね下さい。



「あー、雑誌も借りられますか」

最新号の雑誌は、図書館でお読み下さい。次の号が出たら借りていただけます。

(バーコードが貼って

あり
ます)
予約制度もご利用下さい。
•おおよそ50タイトルの雑誌を購入しています。



ほかに

「子供の本がたくさんある」
「ジュエタンコーナーが、楽しい」
「手芸の本が少ない」
「三週間あるのでゆっくり読める」
「親しみやすくして良い」
「騒々しい時がある」……

などの感想がよせられました。また、図書館を利用されていない方もお気軽におこし下さい。そして、あなたの声も、ぜひ、お聞かせ下さい。



あなたの
おこしを待ってます

